

オーガニックウォール 施工要領書  
- コテタイプ・ローラータイプ共通 -

《 DIY パレット 》



**保存料・防腐剤不使用の“天然塗り壁材”です**



到着後は2週間を目安に使い切りでご使用ください。  
異臭や変色を感じた際はご使用を中止しご相談ください。

《はじめまして、2006年より塗り壁材の製造販売をしている株式会社エターナルアースです》

塗り壁仕上げをするためには、既存の壁がどんな素材でどんな状態にあるかを判別し、それに適した“下地処理”を施すことが大切です。『下地8割・仕上げ2割』です！  
施工書を確認しながら進めていきましょう、Let's try 塗り壁DIY!!

## 一 新築など、新規プラスターボードを設置し塗り壁施工するお施主様へ

施工した塗り壁が、長期的に美しく保てるかどうかの決め手は、塗り壁を施工する前の、下地材の段階でほぼ決まると言っても過言ではありません。

塗り壁のクラックのほとんどは、壁表面には見えてこないプラスターボードや合板の継ぎ目部分に生じるひずみが原因となって起こります。

そのほかにも、塗り壁施工後にも電気工事などの振動等によっても、ボードの継ぎ目からクラックは生じてしまいます。

ですので事前に、施工に携わるすべての業者さん（特に大工さん）に、この現場の内装は“塗り壁仕上げ”になることを周知していただくことが非常に重要です。また周知いただくことで、塗り壁施工に最適な材料やボードサイズ・ジョイントの位置・工事工程などおのずと決まってくることも多々ございます。

補修工事の手間削減にもつながりますので、ぜひ施工前に周知徹底をおねがいします。

1. 施工時の周辺環境・使用上の注意 . . . . . P1
2. 下準備をする（養生・マスキング） . . . . . P2
3. 下地を仕上げる《新築 CASE①》プラスターボード →P3,4  
《新築 CASE②》コンパネ・合板 →P5  
【リフォーム CASE①】ビニールクロス →P6,7  
【リフォーム CASE②】左官仕上げの壁 →P8  
【リフォーム CASE③】コンクリート・モルタル →P8
4. 塗り壁材を施工する . . . . . P9
5. 施工完了後の注意事項 . . . . . P11
6. 塗り壁のお手入れ方法 . . . . . P11
7. 塗り壁施工関連 推奨品 . . . . . P13

## 1 施工時の周辺環境・使用上の注意

《周辺環境》 ※施工の際、下記のような状況時は施工を見合わせて下さい。

- ・気温が摂氏 5℃以下、もしくは湿度が 80% 以上の場合 (※注)。
- ・作業場所に飛散物やほこりが多い場合。
- ・塗布面の温度が異常に高く、塗った時に気泡が生じる場合。
- ・下地の処理が不十分な場合。

(※注) 梅雨のように湿度が高い環境の施工では、塗り壁が乾燥しにくいことでカビの発生につながる場合があります。施工時は『一気に・まんべんなく乾燥させる』ことが大切ですので、扇風機やサーキュレーターで空気を循環させつつ（直接施工面に風をあてない）換気扇を 24 時間稼働させるなど、湿気がこもらないように工夫して乾燥を促してください。

《使用上の注意》

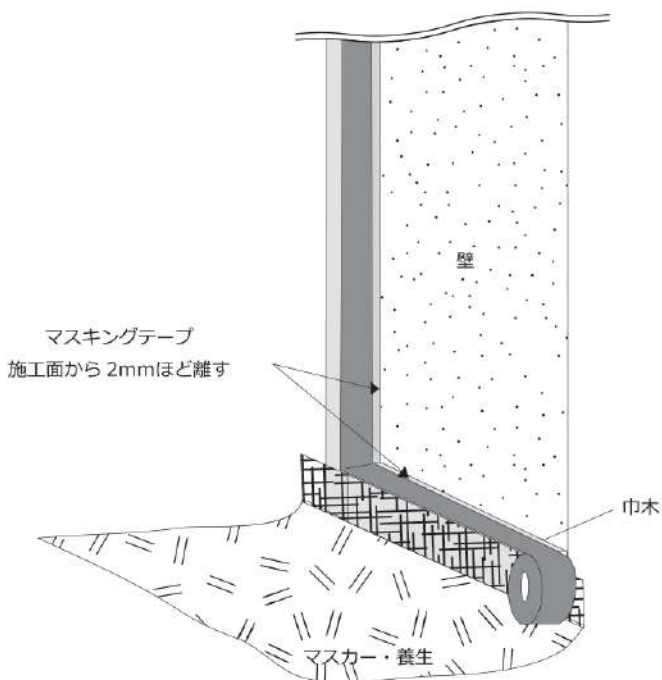
- ・保存料・防腐剤を使用していないため、開封後はすみやかにご使用下さい。  
劣化スピードは気候や保管状況によっても差があります、変色や異臭を感じた場合は使用を中止してください。
- ・基本的に発注ごとの使い切りを原則としストックはしないで下さい。
- ・目に入った場合、直ちに清水で 15 分以上洗い流し異常のある場合は医師の手当を受けてください。
- ・作業上粉塵が大量に発生する場合は、保護マスク・保護眼鏡・保護手袋等を着用してください。
- ・廃棄する場合は、容器も含めその地方の廃棄物処理に適した方法で行って下さい。

《施工前の確認事項》

- ・施工前には周囲に十分な養生をお願いします。
- ・施工する道具は、他の材料が付着していない、きれいな道具をご使用下さい。
- ・材料が養生をしていない場所に飛んだ場合は、速やかに拭き取って下さい。
- ・施工後は速やかに道具を清掃して下さい。

## 2 下準備をする（養生・マスキングテープ）

- ・汚れ防止のため、必ず床には養生をおねがいします。  
（マスキングテープとビニールシートが一緒になっているので簡単に養生ができます。）
- ・マスキングテープで、施工しない部分を保護します。  
塗り厚を考慮し2mmほど施工面から離して貼ると、剥がしやすくきれいに仕上がります。
- ・コンセントやスイッチプレート等がある箇所は、カバーに沿ってマスキングテープで保護します。



### 3 下地を仕上げる

#### 《新築CASE①》プasterボード

##### A 使用するプasterボードについて

- ・ 12 mm厚のベベルボード（Vカット）または、テーバーボードを使用します。
- ・ 基本的には横目地が出ないように、3×8 板および長尺板（3×9）をご使用ください。〔右\* A〕
- ・ 間柱は、反りによる狂いの少ないものを使用する事をおすすめします。



〔A〕 ボード推奨サイズ

##### B プasterボードを設置する時の注意

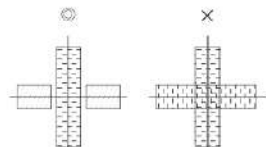
- ・ 開口部はボードを欠き込み、ジョイントが出ない施工をして下さい。  
〔P4 \* B-1 : ○パターン、×パターン参照〕
- ・ プasterボードの外周面は、約 100 mmピッチで認定ビスで固定します。  
〔P4 \* B-2〕

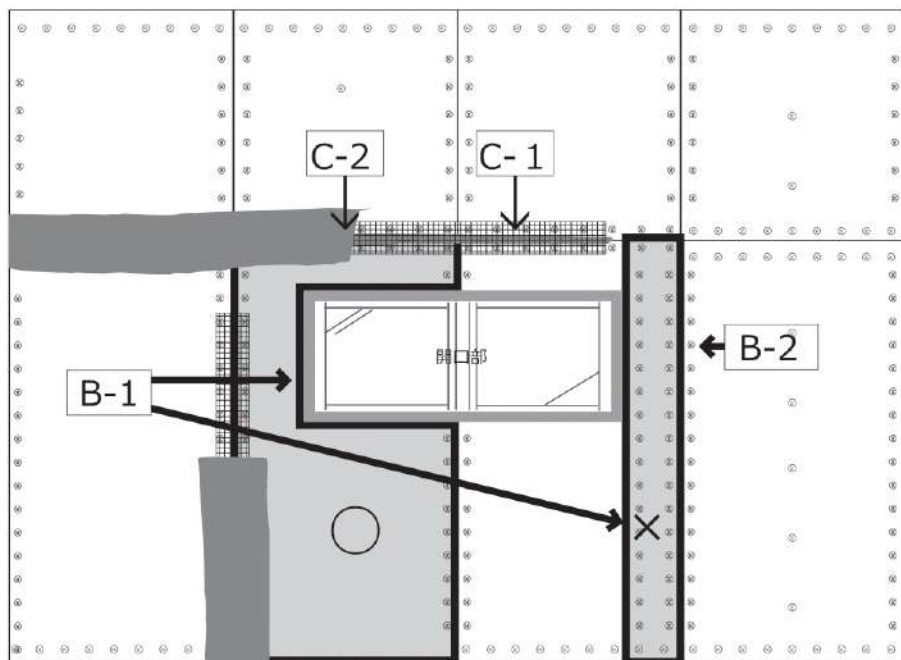
##### C 下地施工をする（ジョイント処理）

1. ボードの継ぎ目に専用下地パテ材を埋め込みファイバーテープを貼ります。〔P4 \* C-1 & 拡大図〕  
溝のパテ埋めと同時にビス頭も下地パテで平らに埋めて下さい。  
\* 入・出隅は、事前に木工用ボンドを塗り込んでおくことクラック防止に効果的
2. ファイバーテープの上に隠れる程度に薄く下地パテを塗ります。（巾 120 ~ 250 mm位）  
\* 基本は下塗りパテ+上塗りパテ仕上げの2度塗りです。〔P4 \* C-2 & 拡大図〕

##### 〈目地のメッシュテープの貼り方〉

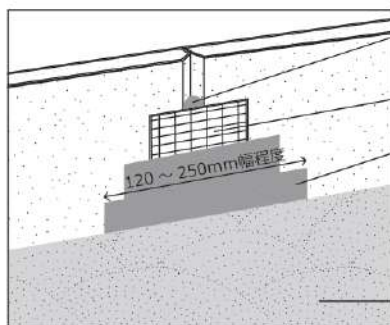
メッシュテープは下地のつなぎ目がズれて塗り壁の表面にヒビができることを防ぐためのアイテムです。  
テープを貼るときは、テープ同士が重ならないよう注意しましょう。





× パターンのように開口部にジョイント部分が直線状に接すると、窓の開閉による衝撃が伝わりやすいため、塗り壁にクラックが生じやすくなります。  
開口部は必ず○パターンのように欠きこみをお願いします。

C 拡大図



下地処理用パテでボードのつなぎ目溝、  
ビス頭をしごきながら埋めて乾燥させる

メッシュ テープ 約 50mm

下地処理用パテでメッシュテープを覆い隠す  
\*基本は2層塗りです。

\*厚塗りにならないよう注意。厚みにムラがあれば、  
目の細かいサンドペーパーで均一に整えてください

仕上げ塗り壁材

## 《新築CASE②》コンパネ・合板

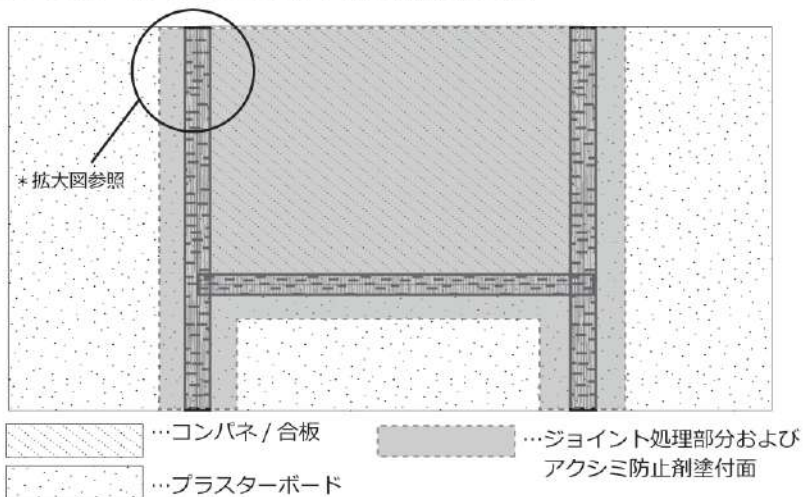
1. コンパネ/合板部にアクシミ防止剤ストロングタイプ(原液2度塗り)で灰汁止め処理をします、ローラーを使って塗付するのが簡単です。

部材によってアクの出方は異なります、アクが強い部材には1層ごと乾燥のうえ数回塗り重ねてください。処理が不十分ですと、塗り壁完成後にシミが浮き出る事もあるので念入りに。

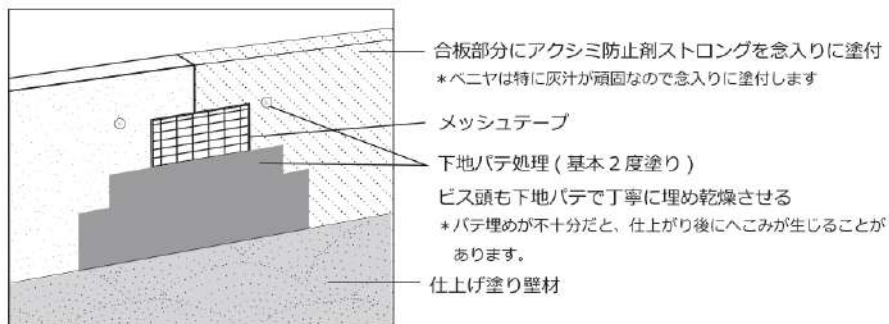
2. プラスターボードC同様に、ジョイント処理を行います。

\* 部材の組合せによっては、全面に下地パテ処理を施してください。

※ 例：プラスターボードと、コンパネ/合板の混合壁の場合

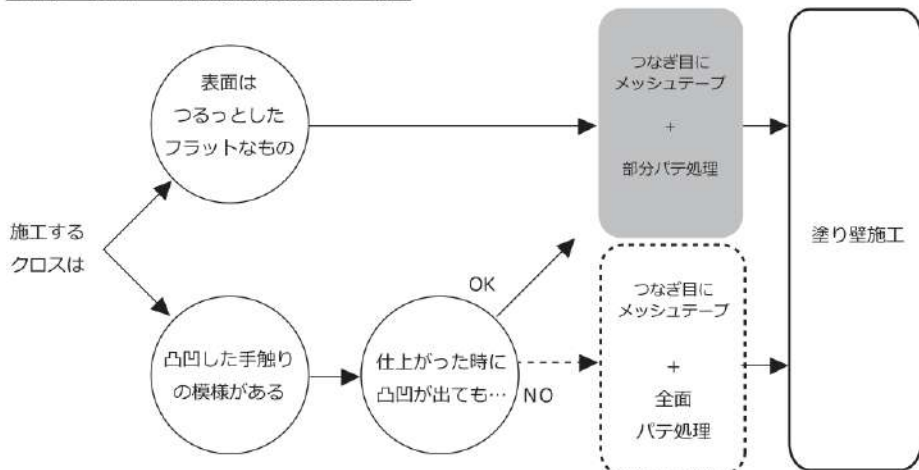


拡大図

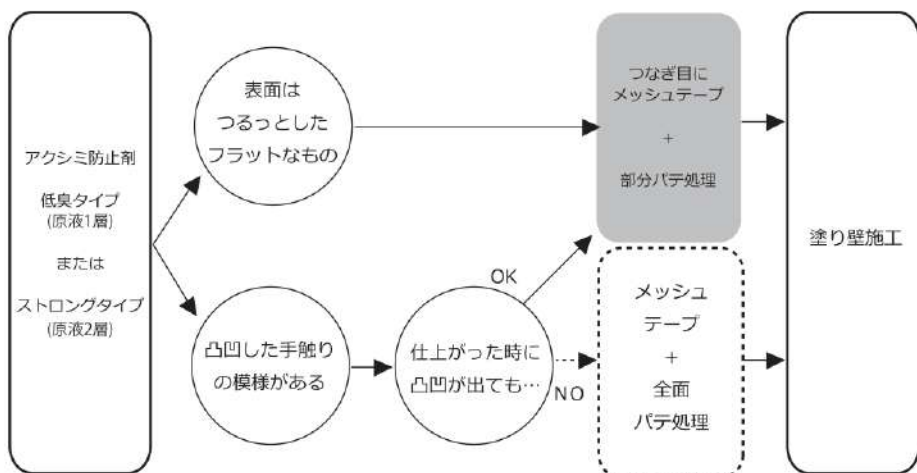


《P6の工程1～2終了後の施工について》

◆パターンA 汚れが気にならない場合



◆パターンB ピニールクロス汚れが気になる場合（灰汁止めをします）





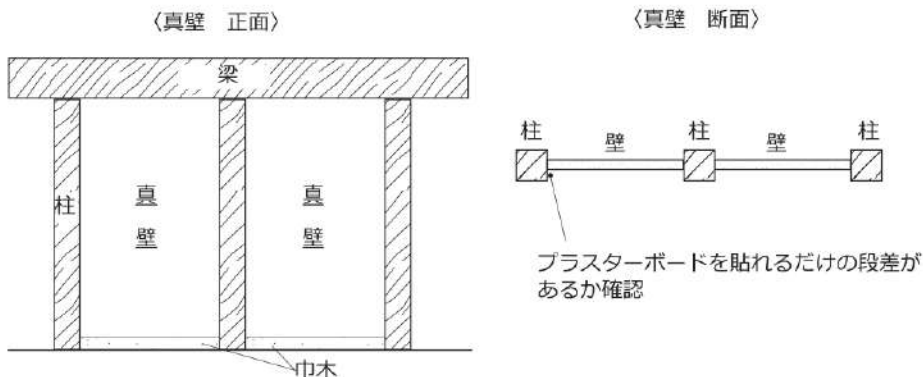
### 【リフォームCASE②】左官仕上げの壁

※繊維壁（ふわふわした繊維が混ざった古い塗り壁）の場合は、繊維壁カンタン剥離剤で剥がします。

（注\*）繊維壁の下が土壁の場合は、あえて繊維壁を剥がさずそのまま上からアクシミ防止剤ストロングを念入りに塗付するほうが好ましい場合もあります。

※真壁の場合は、プラスターボードを上から貼ったほうが手間のかからない場合がありますので、一度施工前に施工業者さんにご相談するのもおすすめです。

1. 触って崩れる部分は、先にブラシ等を使って落としておきます。
2. アクシミ防止剤ストロングタイプを念入りに塗付し、古壁を固め同時に灰汁を止めます。
3. 壁にほころびや凹凸がある場合は、下地処理用パテ材を使い全体が平滑になるよう処理をします。



### 【リフォームCASE③】コンクリート・モルタル

1. 目地がある場合は、塗装ができるタイプのコーキング材で目地埋めをしてから\*下記2へ。  
目地がない場合は\*下記3へ。
2. ファイバーテープと下地パテ材を使用し、P4\*Cと同様ジョイント処理を行います。
3. 下地の不陸調整（コンクリート・モルタル用不陸調整下地材を使用）をしてからアクシミ防止剤ストロングタイプを念入りに全面塗布します。

\*材料の相性によっては灰汁や吸水ムラが生じることがあります。

目立たない壁面で検証を行い、問題がないことを確認してから仕上げ施工を行ってください。

## 4 塗り壁材を施工する

- ・箱梱包の商品は袋の中に着色かくはん済の材料が入っていますので、そのままコテ板にとってご使用いただけます。
- ・施工を中断する際は、空気をなるべく抜きながらビニール袋を密閉して保管してください。再使用時、材料が少し硬い際はビニール袋のままやさしく揉んでいただくと柔らかさが戻ります。それでも硬い場合は加水して調整していただいても構いません。
- ・防腐剤や保存料は不使用ですので、変色や異臭を感じた際は使用を中止してください。

### 《コテ塗り仕上げ》

- ・ステンレス製の仕上げ用コテ (0.3mm程度) で施工して下さい。
  - ・手板に必要量を取りよくこねてから、1～1.5mm程度で均一に塗りつけます。
  - ・塗りつけ後、コテでパターンをつます。コテは、力をいれずに軽く持ち、表面を滑らせるように動かすとパターンが上手に出ます。コテ模様がはっきり出るランダムパターンで仕上げると、下地の凹凸が目立ちにくくなるのでおすすめです。
  - ・基本的にコテ押さえ（みがき仕上げ）は出来ません。
  - ・薄塗りを推奨しておりますが、厚塗りにも対応できます。（1層ごとに乾燥させてから重ね塗り）
- ※ビニールクロス下地やコンパネ下地・または夏場で壁が熱くなっている場合には、塗りつけた際に気泡が出る場合があります。気泡が出た場合は、すぐにコテを左右に動かして気泡をつぶし（2,3回繰り返すと気泡はほぼ消えます）、その後パターン付けをして下さい。

### 《コテに慣れていない方は…》

- ・小さ面積の壁面から始めて、コテと材料の感覚に慣れてきたら大きな壁を施工しましょう。
- ・下記のアルファベット a・S・L を描くようにコテを動かすと、簡単に自然なテクスチャーが表現できます。各文字をおりまぜて1面仕上げてみましょう。コテに慣れてきたら8の字を連続で描くように動かすとよりきれいなランダム風に仕上がります。



より簡単に仕上げたい場合は、塗り壁材をコテでざっくりと全体に塗り広げた後、刷毛を使って材料を伸ばしながら刷毛模様をつける方法も、安易かつ雰囲気もあっておすすめです。

軍手やゴム手袋をして手で塗り広げる方法でしたら、お子様でも施工が簡単です。

\*毛質ごとに違った模様ができるので、好みの毛質・サイズをお選びください。

\*刷毛は100円均一で売っている程度でも十分です。別の用途で使用済みの刷毛は、ご使用にならないでください。灰汁の原因となる場合があります。

※道具にこだわることなく、身近にある使いやすいアイテムを使ってぜひ自由にDIY施工を楽しんでください。

#### 《左官仕上の代表的なパターン例》



ランダムパターン



ウェーブパターン



刷毛引き



櫛引き

※職人さんごとに風合いは違うものです。

左官屋業者さんに依頼する際は、現場にて双方立ち合いのもとパターン決定されることをお勧めしております。

#### 《ローラー仕上げ》

\*仕上材が飛び散ることがあるので、カッパや作業着の着用をお勧めします。

1. ローラータイプの仕上げ材は、成分が容器の底に沈殿しやすいため使用する前によくかき混ぜてからバットのような少し深さのある平らな容器に流し入れます。（\*推奨品：ローラーセット）
2. 壁の近くで容器を片手に持ち、ローラーに仕上材をなじませて壁に塗付していきます。  
好みの模様ができるように、ローラーを転がして塗り広げます。
- 3.1 層ごと塗付&乾燥させ、2～3層重ね塗りしてムラをなくします。

## 5 施工後の注意事項

- ・塗り残しがないか点検してください。細部の補修にはきれいな筆を使うと簡単です。
- ・1 壁ごと乾燥する前に、施工面に触れないよう注意しながらマスキングテープ・養生を取り除きます。(乾燥後に剥がすと塗り壁も一緒にバリバリとめくれてしまうので注意)
- ・余分な場所に材料がついてしまった際は、濡れた雑巾で拭きとって下さい。
- ・全体が均一に乾いていくように、窓を開けてよく換気してください。夜間も可能であれば換気扇を作動しておくより速く乾きます。最低でも1日～2日間はよく乾かして下さい。初期段階で乾燥が不十分ですと、まれに色ムラが生じる事があります。着色している場合は特にムラが目立ちやすくなるので、ご注意ください。
- ・ご使用になった色番号やアイテム名を控えておいて下さい。

## 6 塗り壁のお手入れ方法

日常生活において付着した汚れ等は、下記の要領で対応して下さい。

| 方法<br>種類 | 消しゴム | メラミンスポンジ | サンドペーパー<br>*白色 600 番推奨 | 中性洗剤 |
|----------|------|----------|------------------------|------|
| 鉛 筆      | ◎    | ○        | △                      | ×    |
| ペン・マジック  | ○    | ◎        | ◎                      | ×    |
| 手あか      | ○    | ◎        | △                      | ×    |
| コーヒー・お茶等 | ×    | ×        | ×                      | ×    |
| 醤油・ソース等  | ×    | ×        | ×                      | ×    |

[ ◎きれいになる ○ほぼきれいになる △多少残る ×きれいにならない ]

( 次のページで詳しい解説あり )

- ・まずは、消しゴムからお試ください。落ちにくさに応じて、メラミンスポンジ → サンドペーパーをお使いください。
- ・傷跡が残る場合または上記のお手入れ方法で対応できない場合は、オーガニックウォールの少量タイプで補修することをお勧めします。
- ・研磨の際は作業中に粉塵の出ることがあります、その場合はマスクを着用してください。
- ・基本的に中性洗剤はご使用いただけません。やむを得ずご使用になる場合は、こすらずに汚れの上から軽くたたくようにして下さい。

### 削り落とせる着色汚れ補修



### 削れによる傷補修



### すきま・ひび補修



柱や巾木などをマスキングテープで保護し、適度な硬さに調整した材料を隙間に埋めるようにして補修する（細筆を使うと便利）

メラミンスポンジやサンドペーパーを使い汚れを落としながら段差をなくすよう軽く研磨し平らにする

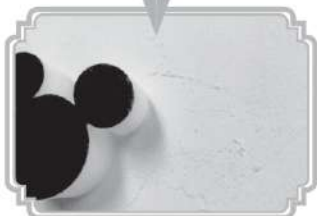


\*気にならなければこれで補修完了!!

傷あとが気になる場合は同じ材料を少量とり重ね塗りをする（小傷は指先でも補修可能）



補修部分を目立ちにくくするために、メラミンスポンジで境界線をぼかすようになじませる



材料を塗り重ねて部分補修をすると、その箇所がどうしても目立ってしまいます。そのため基本的には1面ごとに補修することをお薦めします。



## 7 副資材・その他用意しておくもの

- \* 状況に応じて、各種必要なツールをご用意ください。
- \* 用途・使用方法を必ずご確認のうえ、使用方法を守ってご利用下さい。

|  |  |  |
|--|--|--|
|   |   |       |
| <p>【左官仕上げアイテム】<br/><b>DIY 5点セット</b><br/>コテ・コテ板・マスキングテープ・養生マスカ―・しゃもじ</p>            | <p>【ローラーアイテム】<br/><b>ローラーセット</b><br/>アミ付バケツ・ローラー&amp;ハンドル・スポンジブラシ・マスキングテープ・養生マスカ―</p>                                      | <p>【ファイバーテープ】<br/>1巻・3巻セット<br/>約50mm幅×90m</p>  |
|   |   |       |
| <p>【下地パテ材】<br/><b>下地処理用パテ 6kg・18kg</b><br/>巨地理め・部分パテ・全面パテ<br/>オリジナルアイテム</p>        | <p>【灰汁止め】<br/><b>アクシミ防止剤 / 低臭 1kg・4kg</b><br/>ビニールクロスから出るシミを防止<br/>オリジナルアイテム</p>   | <p>【灰汁止め】<br/><b>アクシミ防止剤 / ストロング 1kg・4kg</b><br/>砂壁・土壁・ベニヤ板から出るシミを防止<br/>オリジナルアイテム</p> |
|  | <p>木工用<br/>ボンド</p>  <p>筆や刷毛<br/>中性洗剤</p> |  |
| <p>【繊維壁剥離剤】<br/><b>繊維壁カンタン剥離剤 40g</b><br/>繊維壁の古壁を柔らかくして除去<br/>オリジナルアイテム</p>        | <p>【その他】<br/>*主にクロスに施工する時に便利</p>   |  |

\* 容器の形状など変更となることもございます。